

## フィリピン遠征

17才以下女子 野井 夕夏子（駿台甲英高等学校）

### INマニラ

1月2日、お正月の真っ只中私たちはフィリピンのマニラに向けて飛び立ちました。マニラ空港に着陸して、飛行機から降りたときの感想は「暑い!!」。気温-2度で雪が降っていた奈良県から、気温25度のマニラへ!その気温差約30度でした!

ホテルでホームステイ先の人達に暖かく迎えられ、不安も少しなくなりました。ホストファミリーには、サブ（イサベラ）という14歳の女の子がいました。明るくて、すごくいい子でした!!「おはよう」「ありがとう」「イケメン」など、日本語も少し知ってましたし、英語があまりしゃべられない私でも分かるように、ゆっくり分かりやすく話してくれました!!サブとはマニラにいる間、長い時間を一緒にいて、いろんなことを教えてもらいました。サブのお母さんもすごくいい方で、車で私たちの練習の送り迎えをして下さったり、ご飯を食べに連れて行ってくれたりしました。

初日の練習は、シェルコートでした。気温が暑いので、ガットがゆるゆるになっていたり、シェルコートのイレギュラーに対応できなかったのがあって、正直ボロボロでした……。でも、日を増すごとに環境に慣れ、調子はよくなっていきました。マニラでは、2日目からマニラの有名大学!アテネオ、デラセール、フィリピン大学の人たちと練習マッチができました。私は、3日目にしてやっと、シングルスで初勝利!それは、初日に負けた相手へのリベンジでした!その後は、変な体の力もぬけて、いつも通りのプレーができるようになりました。

今度行くときには、もっと環境に対応できる力をつけて、1日で自分のプレーができるようになりたいです。さよならパーティーはすごい盛り上がりでした!フィリピンの男子達は、向こうで流行っているダンス?をしてくれました。私たちは、感謝の気持ちを込めたスピーチと、GreeeeNの「キセキ」を歌いました。サブや他の子達もすごく「キセキ」を気に入ってくれて、音楽は世界共通だなと感じました。日本の男子は、一人一人スピーチや歌、ダンスをしました。テンションがおかしくなるくらい盛り上がり、本当に楽しかったです。明日にはもう別れないといけなと思うと寂しくて……。みんなと抱き合って、別れを惜しみました……。

### INセブ

マニラからセブへは国内線の飛行機で移動しました。上空から見えたセブ島はすごく小さい島だったのに実際降りてみると、普通に広かったです。セブにいたのは3日間だったのですが、いろんなことが在りすぎて、印象に残る内容の濃い3日間でした。練習は、キレイなクレークコートでしました。私は、ほとんどセブの男子と試合をしました。男子は足が速くて、いつもならチャンスボールがきたり決まったりするところに私が打っても、コートの深い所に返ってくるので、攻められなくて大変でした。それに、スピンボールは頭のところで跳ねてくるし、スライスは滑ってくるので、クレークコートは難しいなと思いました。でも男子とできて、すごく勉強になりました。

セブでは、観光の時間もあり、ラブラブの歴史についても学びました。

最終日には、練習の後ビーチに行き、海に入って遊んだり、砂浜で貝を拾ったりしました。ある事件も起こり本当におもしろかったです。

夜のさよならパーティーでは、人生初!ご飯を手で食べました!意外と食べやすかったのですが、熱いものは食べられないなと思いました。みんなで写真を撮っているときには、もうお別れかとまたまた寂しくなりました。正直、マニラからセブに来たときには、マニラにずっといたかったと思っていたのですが、そんな気持ちが吹っ飛ぶくらい、セブの子達もフレンドリーで最高の子達ばかりでした!!本当に帰りたくなかったです。



### 感想

この遠征を終えて思ったのは、私は恵まれているなという事でした。こんなにすばらしい遠征に行くことができて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

兵庫県テニス協会の方々、引率してくれたコーチ、一緒に遠征に行ったみんな、それに、私達を暖かく迎えてくれたフィリピンのみなさん、ホストファミリーの方、一緒に練習してくれた子達、もう書ききれないくらいたくさんの皆さんに支えられて、今回の遠征を楽しく無事に終えることができました。英語も少しは上達したと思います。

本当にありがとうございました!!

今回学んだたくさんの経験を、これからに活かしていきます!

